

計	下	中
一六、七四〇、二六〇	九、七〇五、五、九七六	六、七〇五、五、九七六
三、九二三、五〇四	五九七、四四四、七五七	五九七、四四四、七五七
六八、一九四、八四四	六〇、三三四、三、五六六	六〇、三三四、三、五六六
五、九三九、〇九六	四、九四四、四三三	四、九四四、四三三
二、四	一、五〇九	一、五〇九
二、三五	一、八六六	一、八六六
一、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二、六九	五、五〇〇	五、五〇〇
一、七二八、二五	〇、六	〇、六
一〇九	八、九四九	八、九四九
一、三	九、九	九、九
一、三	八、四	八、四
〇、二	〇、二	〇、二
一、〇九	一、七	一、七
〇、七	〇、三	〇、三
三、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇

七 職業別に依り分ちたる寄生蟲検査成績

第十五表で見る如く、職業別では有業者及無業家族共に農業を除く外は何れも各職業の人員が少數である爲に統計として價値の薄い憾みがある。

故に各職業別検査人員一〇名以内のものは批評を避けたいと思ふ。

先づ有卵率を見るに農業では有業者で九三%其の家族では八九%である。

蠅蚘の有卵率も亦高率なのは農業で有業者六八%その家族で七三%である。

而して蛔蟲は各職業を通じて家族に多い、之に蛔蟲感染が小兒に高率であるに因ると推知される。

十二指腸蟲は農業で有業者三五%其の家族で一七%であり「鑛業冶金」(本縣のは鍛冶職が多數を占めてゐる)で有業者六〇%に同家族で二八%を占めて甚だ高率である。

其他「官公吏事務員」、「物品販賣業」、「其他の有業者」に高率であるが検査人員が少數なる爲に統計價值が薄弱であるかと思ふが一つには調査した

各部落は殆んど農村部落であつて、物品販賣業者も、官公吏も等しく餘暇は農業に従事してゐる實狀に在るを以て農業従事者と考へてよいと思ふ
(第十二表参照)

第十二表

[illegible][illegible]

計	府縣別	要項	主薬薬品名	服	方	法	副作用ノ概要	効力ノ最高最低	検査人員	有効人員	百分率
計	チモール	チモール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	チモール二回、二日ヲ隔テ、チモール三・〇ナフトール一・〇二回	坂越小学校	二〇	二〇	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	瀧野小学校	三	三	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	古宮	三	三	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	池尻	四	四	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	中谷小学校	三	三	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	新田	二	二	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	諏訪山小学校	五	五	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	東古佐	三	三	一〇〇
計	チナフトール	チナフトール	ヒマシ油	一・五	二〇	一回	右ニ同ジ	小坂	四	四	一〇〇

第十四表

十二指腸蟲驅除藥品ノ効力調査（最高最低ヲ示シタモノ）											
府縣別	要項	主藥藥品名	服	藥	方	法	副作用ノ概要	効力ノ最高最低	検査人員	有効人員	百分率
埼玉	玉	チモール	下劑ニセンナ葉液ト硫苦ノ合劑ヲ用フ				幾分ノ胃腸傷害アリ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
埼玉	玉	パラジトール	下劑トシテ硫苦ヲ與フ				認メズ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
埼玉	玉	ネマトール	下劑トシテセンナ葉液ト硫苦トノ合劑				輕微ノ頭痛ト嘔吐	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
京都	都	ネマトール	服藥後安臥二時間ノ後ヒマシ油頓服				輕微ナル頭痛、惡寒、倦怠	最高最低	一・三	一・三	一〇〇

府縣別	要項	主薬薬品名	服	方	法	副作用ノ概要	効力ノ最高最低	検査人員	有効人員	百分率
佐賀	賀	ネマトール	空腹時ニネマトール(一・五)服用二時間後硫苦(二・〇)ヲ與フ	二	一回	認メズ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
愛媛	媛	ネマトール	ヒマシ油服用一時間後ネマトール半量、再ビ一時間後ネマトール半量、三時間後ヒマシ油ヲ與フ	二	一回	多少ノ腹痛、頭痛、眩暈アリ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
栃木	木	ネマトール	〇・八・〇・九五ヲ空腹時ニ與ヘ二時間後硫苦ヲ服用セシム	二	一回	右ニ同ジ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇
愛媛	媛	サントニン	朝夕二回服用	二	一回	多少ノ頭痛ト腹痛アリ	最高最低	一・三	一・三	一〇〇

(最高最低ヲ示サナイモノ)

府縣別	要項	主藥藥品名	服	藥	方	法	副作用ノ概要	検査人員	有効人員	百分率
熊本	熊	ネマトール	空腹時ニ一・二・二・〇服用二時間後、センナ三・〇硫苦三・〇ヲ與フ	認メズ				二四四	一八〇	七三・〇
鹿兒島	鹿	ネマトール	カブセル二個ニ入ル朝食前一個、二時間後一個、又二時間後ヒマシ油ヲ與フ	右ニ同ジ				二三	二三	一〇〇・〇
岐阜	岐	ネマトール	ヒマシ油服用、二時間後ニネマトール服用、二時間後ヒマシ油服用	嘔吐				一八九	一四〇	七四・二
長野	長	ネマトール						一八	一六	八八・九
計	計							四六三	三三八	五九・三
千葉	千	チモトル ナフトリン	チモトルニ・〇・ナフトリン・〇・五下劑硫苦ヲ用フ、隔日ニ各一回	認メズ				一〇七	六〇	五五・一
同	同	チモトル ナフトリン	右ニ同ジ 但シ下劑ハヒマシ油ヲ與ヘタ	右ニ同ジ				四四三	三二九	七三・〇
計	計							五五〇	三七九	六八・九
千葉	千	四鹽化炭素	四鹽化炭素三・〇隔日ニ一回ツツ二回ヒマシ油二〇各二回	認メズ				二二〇	一七〇	八五・〇
同	同	四鹽化炭素	右ニ同ジ 服用後三時間デ硫苦ヲ與フ	同				一六八	一五二	八九・一
熊本	熊	四鹽化炭素	右ニ同ジ	同				七六	五二	六七・二
計	計							四四四	三六四	八二・八

第十五表

十二指腸蟲驅除藥品効力ノ調査（本縣及他府縣ノ比較）

薬品名	服薬人員	驅除サレタ人員	百分率		薬品名	服薬人員	驅除サレタ人員	百分率	
			本縣	他府縣				本縣	他府縣
チモール	三六	二四	六六・七	四二・六	アンキロー	四一	二六	六三・四	
チモトル	七四	三八	五一・四		アンキロー	二一	一四	六六・七	
チモトル	五四	三四	六二・七	六八・九	チモトル	四五	一〇	二二・二	七〇・七
チモトル	一一一	七四	六六・七	六四・二	チモトル				

備考 此表ノ他府縣ノ率ハ第十四表ヲ綜合平均セシ率デアル

(2) 蛔蟲驅除藥品に就て

各藥品は試用した度毎に成績不同である。最も成績の良好なのは「チモール、ネマトール」の七九・四％の驅除率である。最も不成績は「ラスミン」溶液の注射で驅除率は僅六％に過ぎなかつた。

「サントニン海人草」の五例の内善入は著しい良成績であるが之れは前三回海人草で驅除を行つた後であつた所以ではなからうか。其他蛔蟲四七％の府中小學校の不成績を除けば、八七％の感染率を持つ中谷小學校が二二％の驅除率で一番悪く、又古宮は七九％の感染率で三二％の驅除率を示し、幾分良い方である。

「サントニン」の二例では池尻、小坂は共に四四％の感染率であるが池尻は四五・六％驅除され、小坂は半ばの成績であるそれは集合投薬不完全な爲であつたかと思はれる。

マクニン末の二例では新田は七二％の感染率で三四・六％驅除され、諏訪山小學校は一七％の感染率で五二％の良成績を示してゐる。

「デゲニン」の二例では坂越小學校の五〇％の感染率で六九％驅除され東古佐は八三％の感染率で僅かに二六・七％の驅除成績しか得られなかつた。

「チモール、ネマトール」でも府中小學校の四七％の感染率では二％迄驅除せられ感染率の稀薄の方が良成績を得てゐる。

「チモール、ベクナフトール」では瀧野、坂越兩小學校は約等しい五〇％の感染率であつたが約等しい四四％、四〇％の驅除率を得てゐる、而し

て古宮部落は感染率が七九％の高率で其驅除率は三〇％に過ぎなかつた。

「ネマトール」は池尻の四四％の感染率で七〇％驅除され中谷小學校は約倍率の七八％の感染率で成績もずつと悪く四五％に過ぎない。（第十六表参照）

第十七表及第十八表によりて他府縣の成績を伺ふに蛔蟲驅除成績は總て本縣より良好なやうに思はれる。

最高率は京都府の「サントニン」で九五・五％驅除され最低は鹿児島島の「マクニン」服用の一三・五％の驅除率である。

第十九表の比較表で見ると單に蛔蟲驅除として用いた藥品では本縣は「デゲニン」の五一・二％が最高率で、十二指腸蟲、東洋毛様線蟲を併有してゐた蛔蟲有卵者に投薬した藥品では「チモール、ネマトール」の七九・四％が良成績であつた。

他府縣の例では「サントニン、海人草」が最高率を示し八四・三％である。（第十九表参照）

表十六表

蛔蟲（十二指腸蟲、鞭蟲、等ノ併有者ヲ含ム）驅除藥品ノ効力調査									
主薬品	要項	同分量	補助薬名	同分量	服用回数	部	落名	服薬人員	驅除サレシ
									員
海人草		三〇・〇	那	六・〇	三回	善	入	一一一	三五
サントニン		三〇・〇	セ	五・〇	サントニン 海人草 コレラ反復スル	善	入	六八	四七
サントニン		三〇・〇	セ	五・〇	右ニ同ジ	久世田		一二二	三一
サントニン		一五・〇	セ	二・五	右ニ同ジ	中谷小學校		七六	一六
サントニン		三〇・〇	セ	五・〇	右ニ同ジ	府中小學校		四〇	七
サントニン		三〇・〇	セ	五・〇	右ニ同ジ	古宮		一五六	五〇
計								四六二	一五一
サントニン		〇・一	硫	二〇・〇	三回	池尻		六八	三一
サントニン		〇・一五	一	一	三回	小坂		四一	一一
計								一〇九	四二
									三八・五
									二六・八
									四五・六
									三二・七
									三二・一
									一七・五
									二一・一
									二五・四
									六八・一
									三一・五

パラジトール	四・〇	硫	苦	二五・〇	二四	小	坂	二六	一〇	四〇・七
--------	-----	---	---	------	----	---	---	----	----	------

府縣別事項				効力ノ最高最低				他府縣			
府縣別	事項	主藥品名	服藥方法	副作用	検査人員	有効人員	百分率				
栃木	海人草	空腹時ニネマトール・五ヲ與ヘ、二時間後ニ硫苦ニ〇・三〇ヲ與フ	認メズ	最高 七九四 最低 六六八	三四六	一〇八	四三・六				
佐賀	ネマトール	ヒマシ油服用、一時間後ネマトール半量、一時間後半量、三時間後ニヒマシ油ヲ與フ	認メズ	最高 二六八 最低 一一一	一九三	七一	七二・〇				
愛媛	ネマトール	朝夕二回ツ、三日間用フル	認メズ	最高 八八九 最低 八四	八二	五七	九二・一				
千葉	サントニン	一日一回二日間用フ	認メズ	最高 三五七 最低 一九五	二七五	二八	七七・〇				
同	サントニン	朝夕二回ツ、二日間用フ	認メズ	最高 一、三九七 最低 七二〇	一、〇六〇	四〇九	七三・九				
京	サントニン	一日一回二日間用フ	認メズ	最高 九〇 最低 九〇	七一	七八九	五八・八				
佐賀	サントニン	サントニン服用、海人草煎ヲ二日分服シ、後硫苦服用	認メズ	最高 一、〇八四 最低 六九三	六六二	六五五	九四・三				
愛媛	サントニン	就床前頓服	右ニ同ジ	最高 一、〇六四 最低 一八一	九二	七九	六六・六				
計	サントニン	朝夕二回服用 下劑ニ硫苦ヲ與フ	認メズ	最高 九〇一 最低 五〇五	一一〇	二二〇	五五・六				
計	サントニン	朝夕二回ツ、三日間用フル	認メズ	最高 三、二六二 最低 三、八六二	二、三九五	一、八五二	七六・二				

府縣別				要項		他府縣		
熊	青	森	海	主藥藥品名	服藥方法	副作用ノ概要	検査人員	効力人員百分率
熊本	海人草	海人草	海人草	一〇瓦ヲ煎液トシ五〇瓦服用	認メズ	三〇四	二一八	七一・七
海人草	三〇瓦ヲ二時間煎出シセンナ三〇瓦ヲ加ヘ一人當リ二〇〇瓦	同	七五五	三八七	五〇・〇			

[illegible]

第十九表

ノモルタヒ用ニ除驅蟲蝨										藥	
サソ ギ ド マ サ 海 海 ン ゲ ラ タ ン ン 人 ト エ ス ニ ト 人 ト ニ ニ ミ ン ニ 人 人 ン ン ン 末 ン 草 草										品名	
一八二 八五 八一 一〇九 四六二 一一一 三一 九五 五 二六 四二 一五一 三五										服藥人員	
一一 三五・五 五二・二 六・〇 三二・一 五九・八 三八・〇										驅除サレタ員	
三 一 一 一 一 一 一										兵庫縣	
一 一 一 一 一 一 一										他府縣	
用件蝨腸指ニ十蟲蝨 ノモルタヒ用ニ者										藥	
パ ネ ア ア ネ B チ チ チ ラ マ ン ン マ ナ ナ ナ ナ ジ ト キ キ ト フ モ モ モ ト ー ロ ロ ー ト ト ト ト ー ル ール ール ル ル ル ル ル										品名	
二六 一六 二八 五四 三九 三四 三三										服藥人員	
一〇 八 九 三三 一四 二七 一五										驅除サレタ員	
四〇・七 五〇・〇 三二・一 六一・一 三五・九 七九・四 四五・五										兵庫縣	
一九・〇 一 一 一 一 一 一										他府縣	

(3) 鞭蟲其他の寄生蟲驅除藥品に就て

藥品を同じくしても試用毎に成績不同であつたことは他の蟲卵の場合に等しい。即ち第二十表に見る如く鞭蟲は十二指腸蟲、蛔蟲に比べて驅除成績が不良である。最も良成績は「ソヴェランサントニン」の五八・六％である、之は瀧野小學校の例であるがその感染率は八八％の高率であつた。最も不成績なのは「ドラスミン」溶液の注射の三％、「バラチートル」の九％であつた。感染率と驅除率との關係を思はせる例は茲にも見出される。即ち左の如くである。

薬品名	部落別	感染率	隔離率
マクニソ末	新田	七二%	三四・六%
諏訪山		四四%	五〇・〇%
デゲン	坂越	五四%	七九%
東古佐		九〇%	二〇%

(第二十表参照)

東洋毛様線蟲、横川吸蟲驅除に就ては第二一表で見る如くである。

他府縣の例では第二十二表に見る如く、鞭蟲は四例に過ぎないが、蛔蟲、十二指腸蟲の驅除に比して成績の悪いのは本縣と等しい、而して「海人草」及「サントニン海人草」は良成績で「サントニンマグネシヤ」が不良の成績を示してゐる。

東洋毛様線蟲では「ネマトール」が良成績であるのは本縣と等しく、横川吸蟲では「サントニンマグネシヤ」の成績が良好であるのを見る。(第二十二表参照)

鞭蟲其他の寄生蟲に就て他府縣と本縣との比較は第二十三表第二十四表の如くである。

本縣で行つた各寄生蟲別の各藥品別の効力一覽表を添へて参考に供した。(第二十五表参照)

之れを見るのに十二指腸蟲驅除及び十二指腸蟲を併有した蛔蟲、鞭蟲驅除では「ネマトール」が總ての蟲卵を通じて良成績であつた。

又蛔蟲、鞭蟲驅除では「デゲニン」が兩蟲卵を通じて驅除効力があつたやうである。(第二十五表参照)

第二十表

鞭蟲(蛔蟲併有者ヲ含ム)驅除藥品ノ効力調査										兵 庫 縣	
主薬名		要 項		同 分 量	補 助 薬 品	同 分 量	服 薬 回 数	部 落 名	服薬人員	驅除サレタ人員	同 百 分 率
海 人 草		三〇・〇	游	那		六・〇	三回	善 入	九四	三六	三九・三
サントニン		三〇・〇	游	那		五・〇	一回	善 入	五七	一七	二九・八
海人草		三〇・〇	游	那		五・〇	一回	久 世 田	一一〇	三五	三一・八
サントニン		三〇・〇	游	那		五・〇	一回	府中小學校	三六	五	一三・九
計									二〇三	五七	二八・一
サントニン		〇・一	硫	苦		二〇・〇	三回	池 尻	四五	二二	四八・九
サントニン		〇・一五					三回	小 坂	三七	二	五・四
計									八二	二四	二八・八
マクニン末		一・〇					三回	新 田	五二	一八	三四・六
マクニン末		一・五	ヒマシ油			二五・〇	一回	諏訪山小學校	一〇	五	五〇・〇

チモール	二・〇	硫 苦	二五・〇	二回	二日ヲ隔テ、	善入	三一	九	二九・〇
チモール	二・〇	ヒマシ油	一五・二	二回	チモール 一回	久世田	六	一	一七・七
チモール	二・〇	ヒマシ油	一〇・〇	二回	二日ヲ隔テ、	府中小學校	四七	六	一二・八
計							五三	七	一三・二
チモール	一・四	ヒマシ油	二五・〇	二回	二日ヲ隔テ、又二回	坂越小學校	六	二	三三・三
チモール	一・三	ヒマシ油	二五・〇	右二回		瀧野小學校	一八	六	三三・三
チモール	一・三	ヒマシ油	二五・〇	右二回		古宮	一九	二	一〇・五
計							四三	一〇	二三・三
ネマトール	一・五	ヒマシ油	二五・〇	二回		池尻	五二	二二	四二・三
ネマトール	八滴—十五滴	ヒマシ油	一五・二	一回		中谷小學校	二〇	一	四二・三
計							七二	二二	三〇・六
アンキロール	三・〇	硫 苦	二〇・〇	一回		新田	二九	九	三一・〇
アンキロール	〇・六	硫 苦	二〇・〇	一回	アンキロール 一回	東古佐	二一	六	二八・六
バラジトール	四・〇	硫 苦	二五・〇	二回		小坂	四一	四	九・一
ドラスミン	一・〇	一〇%水溶液		二回注射		中谷小學校	八〇	二	三・〇
デゲニン	四・八	ヒマシ油	二五・〇	一回	二日ヲ隔テ、又一回	坂越小學校	六七	五三	七九・一
デゲニン	四・八	硫 苦	二〇・〇	二回	右二回	東古佐	七〇	一四	二〇・〇
計							一三七	六七	四八・九
サントニン	〇・六	ヒマシ油	二五・〇	四回	第一日 一回 第二日 一回 第三日 一回	瀧野小學校	二九	一七	五八・六

第二十一表

東洋毛様線蟲驅除藥品ノ効力調査										兵 庫 縣
主藥品	要 項	同 分 量	補助藥品	同 分 量	服 藥 回 數	部 落 名	服藥人員	驅除サレ タ人員	百 分 率	
チモール	二・〇 硫 マシ油	二・〇 二・五・〇	二回、二日ヲ隔テ、二回	善 入	一二	六	五〇・〇			
チモール	二・〇 〇・七 硫 カスカラ ス 流 動 エ キ ス	二・〇 〇・五	一回	善 入	五	三	六〇・〇			
チモール	二・〇 一・五 ヒマシ油	一五・二〇	チモール 一回	久 世 田	五	二	四〇・〇			
計					一〇	五	五〇・〇			
ネマトール	一・五 ヒマシ油	二・五・〇	二回	池 尻	四	一	一〇〇・〇			
ネマトール	八滴―十五滴 ヒマシ油	一五・二〇	一回	中谷小學校	一	一	一〇〇・〇			
計					五	五	一〇〇・〇			
アンキロール	三・〇 硫 苦	二〇・〇	一回	新 田	九	六	六六・七			

横川吸蟲驅除藥品ノ効力調査									
主藥品	要 項	同 分 量	補助藥品	同 分 量	服 藥 回 數	部 落 名	服藥人員	驅除サレ タ人員	百 分 率
海 人 草	三〇・〇 施 那	六・〇	三回	善 入	三	三	一〇〇・〇		
バラジトール	四・〇 硫 苦	二五・〇	二回	小 坂	一	一	一〇〇・〇		
ネマトール	一・五 ヒマシ油	二五・〇	二回	池 尻	二	二	一〇〇・〇		
チモール	一・五 ヒマシ油	二五・〇	二回	瀧野小學校	三	二	六六・七		

第二十二表

驅除藥品ノ効力調査（最高最低ヲ示シタルモノ）										他府縣	
要項		蟲卵別	主藥品名	服藥方	副作用	効力ノ高低	検査人員	有効人員	百分率		
京	都	東洋毛絨線蟲	ネマトール	服藥安臥二時間後ヒマシ油頓服	輕微ナル頭痛惡寒倦怠等	最高 最低	一六三	一四三	一〇〇・〇 六六・〇		

第二十三表

府縣別	要項	蟲卵別	主藥品名	服藥方法	副作用	検査人員	有効人員	百分率
愛媛	媛	横川吸蟲	ネマトール	ヒマシ油服用一時間後、ネマトール半量、一時間後半量、三時間後ヒマシ油	多少ノ腹痛頭痛アリ	最低最高	一四二	一〇〇・〇
佐賀	賀	横川吸蟲	ネマトール	空腹時ニネマトール(一・五)二時間後硫苦ニ〇―三〇ヲ與フ	認メズ	最低最高	一五三	二五〇・〇
計						最低最高	一六五	四一・五
愛媛	媛	横川吸蟲	サントニン	朝夕二回服用	認メズ	最低最高	二八四	二五〇・〇
佐賀	賀	横川吸蟲	サントニン	朝夕二回服用	認メズ	最低最高	二八四	二五〇・〇
愛媛	媛	横川吸蟲	ネマトール	ヒマシ油服用後一時間ネマトール半量、一時間後半量、三時間後ヒマシ油	多少ノ腹痛頭痛アリ	最低最高	一一二〇	一八三・一
佐賀	賀	横川吸蟲	ネマトール	空腹時ニネマトール(一・五)二時間後硫苦ニ〇―三〇	認メズ	最低最高	一一一五	一四八・三
計						最低最高	一二五	一七二・二
愛媛	媛	鞭蟲	サントニン	朝夕二回服用	認メズ	最低最高	四八八	九七・七
佐賀	賀	鞭蟲	サントニン	朝夕二回服用	認メズ	最低最高	二〇四	三七六・四
佐賀	賀	鞭蟲	ネマトール	間後硫苦ニ〇―三〇	認メズ	最低最高	二八五	三八八・八
同	鹿兒島	蟯蟲	サントニン			三	二	六六・七
愛媛	媛	肝ダストマ	サントニン			二	二	一〇〇・〇
長野	野	東洋毛様線蟲	ネマトール			三	三	一〇〇・〇
長野	野	鞭蟲	海サン人草			三七	三四	五九・六
静岡岡	岡	鞭蟲	海人草			二二八	一六七	七六・六

(最高最低ヲ示サザルモノ)

鞭蟲驅除藥品の効力調査

第二十四表

藥 品 名										服藥人員		人驅除サレタ員		本縣		他府縣		百 分 率	
海 人 草 海 人 草 サ 人 草 サ 人 草 マ ク ニ 末 ド ラ ス ミ ン ヂ ゲ ニ ン ソ ヴ エ ラ ン										九四 二〇三 八二 六二 八〇 一三七 二九		三六 五七 二四 二三 二 六七 一七		三九・三 二八・一 二八・八 三七・一 三〇 四八・九 五八・六		七六・六 五九・六		二九・〇 一三・二 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六	
(者有併蟲腸指二十)蟲鞭										三一 五三 四三 七二 二九 二一 四一		九 七 一〇 二二 九 六 四		二九・〇 一三・二 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六		二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六 二八・六			

東洋毛糠線蟲、横川吸蟲驅除藥品効力ノ調査

藥 品 名		驅除サレタ人員		本 縣 他 府 縣		百 分 率	
蟲線様毛洋東		一 二 一 〇		六 五 五 〇		五 〇・〇 五 〇・〇	
チモ ネモ ネマ ア ン キ ロ ー ル		一 二 一 〇		六 五 五 〇		五 〇・〇 五 〇・〇	
海 人 草		三 二 二 〇		三 二 二 〇		一 〇〇・〇 六 六・七	
蟲 吸 川 横		三 二 二 〇		三 二 二 〇		一 〇〇・〇 六 六・七	
藥 品 名		驅除サレタ人員		本 縣 他 府 縣		百 分 率	
海 人 草		三 二 二 〇		三 二 二 〇		一 〇〇・〇 六 六・七	
蟲 吸 川 横		三 二 二 〇		三 二 二 〇		一 〇〇・〇 六 六・七	

兵庫縣

第二十五表

寄生蟲卵別ニ見タル各藥品効力一覽(驅除率)

兵
庫
縣

備考 一、東洋毛様毛線蟲ハ三六名ニ對スル事實デアル

二、横川吸蟲ハ九名ニ對スル事實デアル

九 地勢に依り分ちたる寄生蟲検査成績

第二十六表に於て見るやうに、有卵者としては河川の沿岸が約九五%で最高率である、次は山地の約九二%それより少し低率となり平野で約八六%海濱で約八五%と云ふ順位となり、市街地、小學校の調査ではすつと低く五四%に過ぎない、これは小學兒童であるから幾分高率であるが、第二表の兵庫縣五都市の調査を見れば有卵率は僅に三八・七%であることは以前に述べた所である。

蚶嶺は山地が高率で七九・七％次は河川の沿岸の六一・七％それから平野の五四・二％で最低率はやはり海濱で四七・三％である。市街地はずつと低率で小學校一七％一般住民で一五％である。

十二指腸嶺は平野に於て高率で三三・九%を示し次は海濱の二八・六%である。(海濱と云つても海岸に沿へる平野であることは云ふまでもない。山地は少し低率で一九・五%河川の沿岸はそれよりも低く一三・四%を示してゐる。市街地は一般住民で三%小學校は二・四%に過ぎない。東洋毛様線嶺は山地に高く海濱で最も低い率を表はしてゐる。

鞭蟲は河川の沿岸に最高率で約八七％次に山地、平野、海濱の順位に其率を下つて行く。市街地は小學校で四四％一般住民で二八％である。

(第二十六表參照)

他府縣の調査を第二十七表で見るに有卵者は山地に於て高率で之に次ぐは海濱である。而して市街地の低率であるのは等しい。

蛔蟲では山地は六八・一％の高率で之に次ぐものは海濱の六四・五％である。
十二指腸蟲では濱邊が二六・九％で高率を占め次は平地である、本縣では平野に次ぐに海濱であるが、何れにせよ十二指腸蟲は平地に多いことは確實である。

河川の沿岸の低率なるは本縣と等しい、市街地の最も低率なのは云ふまでもない。

鞭蟲は海濱と山地とに高率であるのは本縣と異なる。(第二十七表参照)

猶本縣及他府縣の成績を順位に並べると第二十八表の如くである。

第二十六表

地勢ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績									
地	山	地	街	市	市	市	市	市	市
検査人員	検査成績	蛔蟲	十二指腸蟲	東洋毛線蟲	横川吸蟲	鞭蟲	蟯蟲	肺デストマ	萎小條蟲
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市小學校	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一
神戶市	二五三	一五七・四	二五・四	一五・一	二五・一	一五・一	一五・一	一五・一	一五・一

第二十七表

地勢ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績									
地勢別	要項	検査人員	検査成績	蛔蟲	十二指腸蟲	東洋毛線蟲	横川吸蟲	鞭蟲	蟯蟲
市街地	検査人員	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者
市街地	検査成績	有卵者	無卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者	有卵者

要項	地勢別		地勢別		地勢別		地勢別		地勢別		地勢別	
	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
市街地	二八	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三
山地	三三	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一
平地	一六	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一
海濱地	一六	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一
河川沿岸	三三	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一	有卵者	〇・一
計	一二〇	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三	有卵者	〇・三

第二十八表

寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況	
寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位
各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位
蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位
蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位
蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位
蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位
東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位
十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位
東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位
十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位
東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位

寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況		寄生蟲ノ種別ト調査地ノ状況	
寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位	寄生蟲ノ種別	順位
各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位	各	第一順位
蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位	蠅	第二順位
蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位	蠅	第三順位
蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位	蠅	第四順位
蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位	蠅	第五順位
東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位	東洋毛様線蟲	第一順位
十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位	十二指腸蟲	第二順位
東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位	東洋毛様線蟲	第三順位
十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位	十二指腸蟲	第四順位
東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位	東洋毛様線蟲	第五順位

一〇 氣象に依り分ちたる寄生蟲検査成績

氣象關係、即ち降水量や、晴天日數、雨天日數等の差が寄生蟲に如何なる關係を持つかを見るのが第二十九表である。
最も降水量の少ない善入部落と最も多い古宮部落とを比べて十二指腸蟲有卵者が古宮に低率であつたのみで他は差したる相異を見出さない、又最も降水量の多い土地にある府中、小學校の成績を最も乾燥する土地の善入に比して蠅蟲有卵率が低いのみで他は何等相異を見ない。(第二十九表参照)

又参考として掲げた第三十表の他府縣の七例を見ても特別の傾向を掴むことは出来ない。

第二十九表

氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較		氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較		氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較		氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較		氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較		氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績比較	
地方別	町	村	降水量	晴天日數	雨天日數	晴天日數	雨天日數	降水量	晴天日數	雨天日數	晴天日數
武庫川流域	新入	八八	一〇・八	三三	二〇	三三	二〇	一〇・八	三三	二〇	三三
加古川流域	池尻	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
加古川流域	久世	九八	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
掛保川流域	古宮	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
沿海地方	東古	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
沿海地方	中谷	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
武庫川流域	諏訪	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
沿海地方	府中	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
沿海地方	瀨野	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
加古川流域	坂越	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五
千穂川流域	千穂	二五	二五・五	二五	二五	二五	二五	二五・五	二五	二五	二五

第三十表

氣象ニ依リ分チタル寄生蟲検査成績

他府縣

府 縣 別	一ヶ月		一ヶ月間平均		検査		同		上		内	
	降水量	晴天日数	曇天日数	雨天日数	人員	無卵者	有卵者	人員	無卵者	有卵者	人員	無卵者
京 都	一四八・八	一〇・四	七・九	三・九	七、四〇五	二、〇八五	五、三二〇	七、八	四、六五	五、三二〇	七、八	四、六五
埼 玉	一〇七・六	一八・〇	七・九	四・六	三、〇一六	五、四四四	一、八〇	二、二一六	一、八〇	二、二一六	一、八〇	二、二一六
千 葉	一四八・八	五・八	三・八	九・〇	五、七三三	一、八〇	三、九三三	五、三	三、九三三	五、三	三、九三三	五、三
香 川	九八・五	一九・六	三・六	七・〇	二、一八五	二、一八	九、〇四七	八、〇八	七、九六	一、〇七	八、〇八	七、九六
佐 賀	一四八・九	二・七	九・〇	一〇・四	二、三六八	一、八三	五、二〇	八、〇八	七、九六	一、〇七	八、〇八	七、九六
新 潟	一五八・四	一・九	八・〇	一〇・〇	一、八三	一、八三	一、〇四	八、〇八	七、九六	一、〇七	八、〇八	七、九六
鳥 取	一五三・三	一〇・七	五・九	一三・九	二、九八	五、八	二、一六四	八、二	七、九六	一、〇七	八、二	七、九六

一一 耕地關係に依り分ちたる寄生蟲検査成績

第三十一表を仔細に見るに二毛作の田地と畑地のみで水田を持たない善入、池尻兩部落を比べると有卵率、蛔蟲有卵率は上池尻が著しく低く、十二指腸蟲では上池尻が著しく高率で兩部落相似た傾向がない。

水田が大部分を占める古宮部落が十二指腸蟲有卵率が幾分低いのみで其他の傾向は善入に似てゐる。

又十二指腸蟲のみをとつて考へても、水田を持たない上池尻と水田の最も多い府中小學校の調査とが相似てゐる。

要するに僅か七部落、五ヶ所の小學校の調査では特種のこととは見出されないやうである。

今他府縣調査の九例を第三十二表に掲げて参考としたいと思ふ。

他府縣の例を見るに田地、畑地の多い所即ち徳島縣、愛媛縣は有卵率が高い傾向を持ち九三%及九一%を占める又水田を主とする千葉縣、福島縣は有卵率は五一%六七%で餘程低い。

各蟲卵別に見ても大體に於て徳島、愛媛、熊本は高率を占め千葉、福島が低率である。

十二指腸蟲に就て見るに水田の最も多い福島が〇・三%の低率で次は水田の相當多い千葉が九・三%で低い。(第三〇表参照)

第三十一表

耕地關係に依り分ちたる農村寄生蟲検査成績比較

兵 庫 縣

町 村 要 項	全 面 積	耕 地 別	各 面 積	全 面 積 に 對 ス ル 比	検査		同		上		内	
					人員	無卵者	人員	無卵者	人員	無卵者	人員	無卵者
善 入	九七・五	畑地水田	三三・〇	三三・〇	一九三	一九	一七四	一六	一九三	一六	一七四	一六
新 田	一四〇・〇	畑地水田	三三・〇	三三・〇	一三三	一三	一二〇	一三	一三三	一三	一二〇	一三
上 池 尻	一一八・四〇	畑地水田	六・〇	五・一	三三	六	二七	六	三三	六	二七	六
小 坂	二八・七	畑地水田	三・〇	一・〇	二五	一	二四	一	二五	一	二四	一
久 世 田	七・七	畑地水田	三・〇	三・〇	二二	一	二一	一	二二	一	二一	一
古 宮	五九・一	畑地水田	三・〇	五・一	二二	一	二一	一	二二	一	二一	一
東 古 佐	二九・三	畑地水田	三・〇	三・〇	二二	一	二一	一	二二	一	二一	一
中 谷	二七・六・〇	畑地水田	三・〇	三・〇	一八	一	一七	一	一八	一	一七	一
府 中	九八・八	畑地水田	三・〇	三・〇	二九	一	二八	一	二九	一	二八	一
瀧 野	一三三・三	畑地水田	三・〇	三・〇	一七	一	一六	一	一七	一	一六	一

第三十二表

耕地關係ニ依リ分チタル府縣別寄生蟲検査成績比較

他府縣

府縣別		要項	耕地關係ニ依リ分チタル府縣別寄生蟲検査成績比較												他府縣	
		全面積	耕地別	同上 各面積	全面積 ニ對スル比	検査人員	無卵者		有卵者		同上		内		其他ノ寄生蟲卵	
							人員	百分比	人員	百分比	人員	百分比	人員	百分比	人員	百分比
千葉	一四、〇八〇町一反	水田地 八、〇三六町四反	五七・〇	五、七〇〇	七五・六三	三、八五五	四七・六	三、八五五	五三・三	三、六三三	四七・七	九、一〇九	九・三	八、七二二	一〇・九	
福島	一六、六三三町七反	水田地 九、三三九町一反	五九・九	五、五五五	六八・五	三、三二二	六八・五	六六・八	五五・五	六、八八八	六五・五	三、〇〇三	一、〇三三	一、〇三三	三・一	
徳島	四、五七町三反	水田地 二、〇九七町一反	二〇・三	四、〇八六	一八・八八八	一、二九〇	六・四	一七、五九八	九・五	一五、四三九	七、九八八	一、五五九	一、二五九	七・七	二、〇五三	六・五
香川	七、八二町	水田地 九、三三三町一反	一〇・七	五、五五五	二一・一八五	二、二六	一九・一	九、〇四七	八〇・八	七、九八八	七〇・九	一、三七七	一、二二三	五、四八八	四九・〇	
佐賀	八、一六町六反	水田地 三、一〇四町一反	三三・五	三、一〇四	二二・三六八	一八、九二	一五・三	一〇、四七五	八四・六	八、四八三	六八・五	五、三三三	四・〇	五、八三〇	四七・一	
熊本	四、〇四六町	水田地 九、五五二町一反	三三・七	三、三三三	三、九六六	二、八四七	一七・六	六〇、一四九	八二・四	五、六六八	七三・三	二、二七二	二・九二三	一〇、五五三	一四・四	
滋賀	二、三三町	水田地 一、四四三町一反	一四・三	一、四四三	一、七五二	一、七三	一四・六	一〇、四〇九	四四・七	九、二四三	七五・九	四・六	三・七	八、五二二	六九・九	
愛媛	一、六、〇七町	水田地 八、四四七町一反	五九・九	五、五五五	八、一四〇	七・三	八・九	七、四二六	九・二	六、四四六	七九・三	三、〇五九	三七・六	七、二二七	八八・七	

栃木	三、六九町	水田地	一、五五二町一反	二、六七一	二六・七	二、六七一	七〇・八	三〇・〇	一六・〇七五	六九・四〇	一五、一三四	六・三	二、二二〇	九・五五	一、五〇〇	六・八
----	-------	-----	----------	-------	------	-------	------	------	--------	-------	--------	-----	-------	------	-------	-----

一一 肥料關係により分ちたる寄生蟲検査

第三十三表を見るに人糞肥料を多く用ゐてゐるのは新田、中谷で之れに次ぐは府中、佐越、久世田であつて最も少いのは古宮、小坂、善入の順序である。

蛔蟲で見ると、人糞肥料の最も多い中谷が八七・八%の高率で人糞肥料の少量である上池尻及小坂が各四四%の低率であるのは領かれるが、人糞肥料の最も少ない、善入、古宮の蛔蟲有卵率が高いのを見ると人糞肥料にのみ有卵率の高い原因を歸することの出来ない憾みがある。

又十二指腸蟲で見ると人糞肥料の多い新田、府中が三四%から三五%の高率であるのは領かれるが人糞肥料を僅かに一〇%しか使はない小坂が五三%の高率であるのを見るとこれも肥料關係にのみ原因を云々することは出来ないやうである。

人糞肥料が寄生蟲と大なる關係のあるのは明白過ぎる事實であることから考へると此の表で正しいものゝ掴めないのは、他の種々な原因が加はつてゐると人糞肥料の使用方法和云ふものが大なる關係を持つてゐるのではなからうかと思はれる。(第三十三表参照)

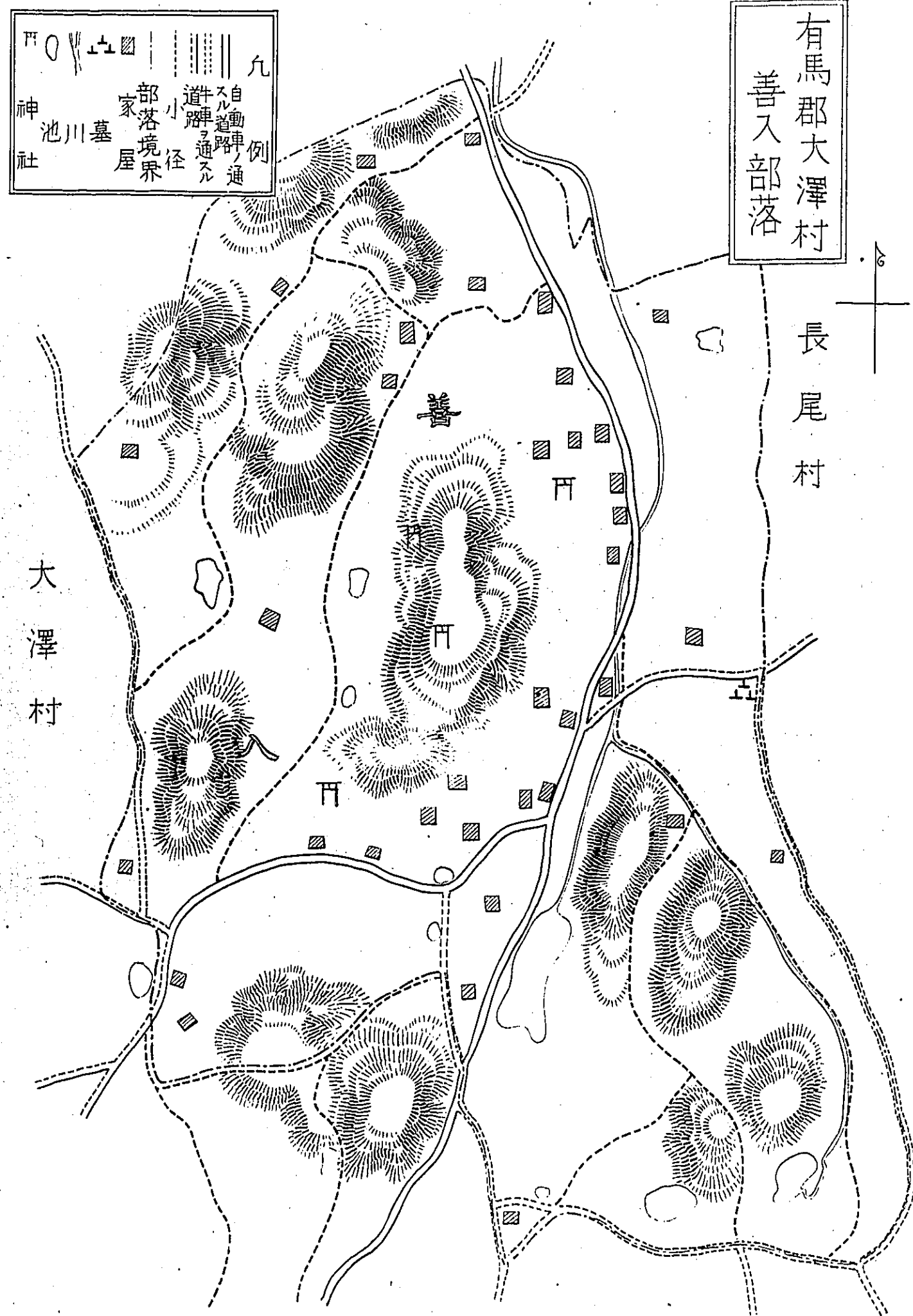
他府縣の例は第三十四表に示す如く唯四例を得たのみであるが、人糞肥料の多い徳島、愛媛を見るに、愛媛は十二指腸蟲有卵率が高く徳島は蛔蟲が著しい高率であるのを見る。(第三二表参照)

第三十三表

肥料關係ニ依リ分チタル農村寄生蟲検査成績比較

兵庫縣

部落別	要項	肥料別	使用ノ割合	検査人員	無卵者		有卵者		同		上		内		其他ノ寄生蟲	
					人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
善入	人糞肥料	八・八五	一・三	一・三	一・三	九八・一	一・三	〇・九	一〇・九	七・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	八・三・九
新田	人造肥料	九・八五	一・三	一・三	一・三	九八・一	一・三	〇・九	一〇・九	七・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	八・三・九



肥料關係ニ依リ分タル府縣別寄生蟲檢査成績比較										他府縣			
縣別	要項	肥料別	使用ノ割合	檢査人員	無卵者		有卵者		同 上 内				
					人員	百分比	人員	百分比	蛔 蟲		十二指腸蟲		其他ノ寄生蟲
千 德 香 愛	葉 島 川 媛	人造肥料糞	七三	五、八五	四七・六	三八、九〇元	五・三	三、六五〇	四・七	九、一〇元	九・三	八、七二	一〇・九
		人造肥料糞	三七	一、二九〇	六・四	一七、五九八	九・五	一五、四三九	八七・八	一、三九九	七・七	二、〇五三	六・五
		人造肥料糞	一・三	二、二三八	一九・一	九、〇四七	八〇・八	七、九八八	七〇・九	一、三七七	二・三	五、四八八	四九・〇
		人造肥料糞	八〇	二、一八五	二、二三八	一九・一	六九・六	六九・五	四六・七	四六・六	三〇・九	三〇・八	二九四
愛媛	媛	人造肥料	二・〇	三〇・五	六九・六	六九・五	四六・七	四六・六	三〇・九	三〇・八	二九四	二九・三	

第二節 各 部 落

第一項 有馬郡大澤村善入寄生蟲調査及驅除狀況

一、調査地の状況
有馬郡の西南方に位し山間の純農村である。住民は總て農業に従事してゐる。

二、寄生蟲検査の方法及驅除方法の概要
大澤村善入部落に對しては第一日に全部落民の體格検査を施行し調査表に示された事項に就て調査記入をし第一日より第三日迄毎日一回糞便検査を行ひ有卵者を確定した上蛔蟲有卵者に對しては第四日から第六日迄毎日一回宛計三回驅除薬を服用させ第七日から第十一日迄毎日一回宛計五回糞便検査を施行した而して尙有卵者に對しては第十四日目に再び驅除薬を服用せしめた。十二指腸蟲に對しては第四日に一回第七日に一回計二回驅除薬を服用させ第八日から十一日迄毎日一回計四回糞便検査を施行した而して其間に便通のない者に對しては浣腸を行つた。

四回検査で尙有卵の者に對しては更に第十五日目に驅除薬を服用させて第一次驅除を一段落とした。

尙驅除の場合には一定の場所に集合させ投薬を行つた又蛔蟲の排蟲數は有卵者をして自宅で新聞紙上等に特に排便させ之を計算しその數を申告せしめたのである。十二指腸蟲は検査場で排便させ又排便のないものは浣腸によつて採便し係員が之を検査した。

三、有馬郡大澤村善入寄生蟲検査及驅除施行日割表

日 次	驅 除 前 檢 査	蛔 蟲、鞭 蟲、横 川 吸 蟲	日 次	第一次驅除後検査	蛔 蟲、鞭 蟲、横 川 吸 蟲
九月二十二日	第一回糞便検査	第一回糞便検査	九月二十八日	第一次驅除後検査	第一回糞便検査
同 二十三日	第二回 同	第二回 同	同 二十九日	第一回糞便検査	第二回 同
同 二十四日	第三回 同	第三回 同	同 三十日	第二回 同	第三回 同
第一 次 驅 除			同 一日	第三回 同	第四回 同
九月二十四日	下 劑 服 用	海 人 草 服 用	同 二日	第四回 同	第五回 同
同 二十五日	下 劑 服 用	海 人 草 服 用	第二 次 驅 除		
同 二十六日	蟲 體 檢 査	右 同	十月三日	下 劑 服 用	海 人 草 服 用
同 二十七日	下 劑 服 用	右 同	同 四日	下 劑 服 用	右 同
同 二十八日	下 劑 服 用	右 同	第二次驅除後検査		

十月十六日	第一回糞便検査	第一回糞便検査	同	三日	下痢服用	右	同
同十九日	第二回同	第二回同	同	同日	チモール、ネマトール服用	右	同
同二十日	第三回同	第三回同	同	同日	チモール、ネマトール服用	右	同
第三次驅除後検査							
十月三十日	下痢服用	サントニン服用	同	十一月十八日	第一回糞便検査	第一回糞便検査	同
十一月一日	チモール、ネマトール服用	サントニン、海人草服用	同	同二十五日	第二回同	第二回同	同
同二日	蟲體検査	右	同	備考：體格検査ハ驅除前ノ糞便検査ト同時ニ之ヲ施行シタリ			

四、驅除前の検査
寄生蟲検査の方法

第一日全部落民の體格検査をなしそれを各個人票に記入すると共に其他の調査事項をも併せて記入し第一日の糞便検査をした。(九月二十二日)
第二日 第二回糞便検査を行った。(九月二十三日)
第三日 第二回の糞便検査を行った。(九月二十四日)
之れで驅除前の糞便検査を終つたので其の結果は第一表より第三表に至る三表によつて明らかである。
即ち本部落は戸數三十三戸人口百九十五人を有するけれども外出旅行病臥してゐるもの等があつて第一日に非検査人員が七名第二日同じく七名第三日には十六名あつた。而して三回の成績を比較すれば各實數及百分比は此のやうになる。

回	次	検査人員	無卵者	有卵者	蛔蟲	十二指腸蟲	東洋毛線蟲	横川吸蟲	鞭蟲
第一	同	一八八人	二〇・七	七九・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三
第二	同	一八八人	二一・四	七八・六	一・七	一・七	一・七	一・七	一・七
第三	同	一七九人	二四・〇	七六・〇	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一

之に因て見る時は各回凡二〇%内外の無卵者がある。そして八〇%内外の有卵者があるわけであるが實際は第一回で無卵となつたものが第二回検査で有卵者となつたものや第一回で有卵であつた者が第二回には無卵になり第三回目に又卵を見たもの等あつて全然の無卵者は表に顯れた二〇%よりも少なくなる。これは個人表に依つて見れば明らかである。(第十六表より第二十四表に至る個人表参照)
結局(個人表によつて調査したもの)三回の検査を通じて無卵者であつたもの一九名あつた之を無卵者と認めて驅除人員から除いて寄附蟲驅除をすることとした。(第二表より第四表に至る参照)

第一表

一般住民性體別及年齡別寄生蟲検査成績															(驅除前第一回)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
年 齡 別 性 項															檢 査		無 卵 者		有 卵 者		同 上		內 部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
人 員															人 員		百 分 比		人 員		百 分 比		有 卵 者		百 分 比		有 卵 者		百 分 比		有 卵 者		百 分 比																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
八七	七六	六五	五五	五四	四四	四三	三三	三二	二二	二一	一一	一六	五一	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲

善入

[illegible]

善入

[illegible]

[illegible]

二六二

(第五表參照)

[illegible]

以上	男女	一五〇
----	----	-----

十九歲以上	二十歲以上六十歲未滿	六十歲以上七十歲未滿	七十一歲以上	男女
三〇〇	二〇〇	一五〇	一五〇	男女
六〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	男女
二〇〇	一二〇	一〇〇	一〇〇	男女
四〇〇	二四〇	一五〇	一五〇	男女

續

月 日	服藥人員	無卵者	有卵者	蛔蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣續蟲	橫川吸蟲	鞭蟲
九月二十九日	一六六	二七.四六	七二.一〇	六〇.〇〇	四.八八	一.八三		四二.三〇
同 三十日	一五六	二六.四一	七三.一五	五五.八六	七.一二	三.八六		三九.六二
十月一日	一二三	二二.〇七	七八.九六	六〇.七四	四.一五	三.四	〇.八一	四三.九四
同 二日	八三	二四.一〇	七五.六三	五七.八八	四.八四	二.四二		五〇.四二
同 三日	二八	一四.二四	八五.二四	六七.九一				六四.三八

大約は右表の如くで十二指腸蟲は六四％強を驅除し東洋毛で五七％を驅除したことになる。蛔蟲、鞭蟲では各三七％、三八％、を驅除したのみで成績不良である。

各驅除藥品を主としての驅除率は各個人表によつて後段に説明するであらう。
(第六表より第一一表に至る参照)

第六表

[illegible]

備考 1. 驅除藥服用後ニ於テ十二指腸蟲卵ヲ發見セシモノ三名横川吸蟲卵ヲ發見セシモノ一名 鞭蟲卵ヲ發見セシモノ七名アリタリ

2. 非検査人員
無明者ト認ムルモノ十九名
事故及病氣ノモノ十九名
計二十九名

第七表

二六五